

津波避難路の整備を

伊豆・土肥
二稗会、区長ら

菊地市長に要望



菊地市長(左から3人目)に高台への避難路の現状を説明し整備を要望する二稗会関係者ら＝伊豆市の土肥小裏山

れておらず手すりもない。装と手すりの設置をお願い状態。関係者は「ぜひ舗いしたい」と要望。菊地

市長は前向きな検討を約束した。
大木会長は「高齢者ら
のことを考えると、避難
路の整備は必要。できれ
ば校舎屋上から裏山への
橋も検討してほしい」と
話した。

市消防団第12分団(土肥
地区)のOBのうち、部
長以上経験者に呼び掛け
2010年4月に発足。
3区内を活動範囲に、火
災など消防団活動時に現
場で後方支援に当たるほ
か、住民の防火意識の啓
発活動も行うことを目的
としている。

伊豆市土肥地区の中心
3区在住消防団OBでつ
くる「二稗会」(会長＝
大木映作・元土肥町消防
団長)はこのほど、津波

避難路の整備を菊地豊市
長に要望した。
自主的に行っている定

期訓練の際、たまたま土
肥を訪れていた菊地市長
に避難路の現状を見ても
らい説明した。大木会長
ら同会会員のほか、中浜

区勝呂和重区長、青木
均会計、平野区野田博
司相談役(前区長)らが
立ち会った。

中心地住民は津波の恐
れがある時は、最寄りの
避難ビルや高台に避難す
ることになっている。と

ころが多くの住民が避難
するとみられる土肥小の
裏山は、舗装されている
のは校舎の2階相当の高
さまで。その上は舗装さ